

福島県 教育新聞

発行人 福島県教職員組合
発行所 福島市上浜町10-38 電話024-522-6141
〔定価一部 20円〕
編集・責任者 角田 政志
e-mail: ftukyoso@poplar.ocn.ne.jp
http://www.f-t-u.or.jp
(この購読料は組合費に含まれています。)

福島と沖縄の連帯を深める

6.25県教組「憲法・平和学習会」 ～福島と沖縄をつなぐ～ 開催される!

「沖縄辺野古新基地建設反対! オール沖縄の運動に学ぶ」



挨拶する角田委員長

講演する福元勇司さん

柴口正武さん

中島こふみさん

司会をする
瓶子副委員長

6月25日、福島県教育会館において「憲法・平和学習会」が開催されました。まず、双葉支部長の柴口正武さんより「原発災害による被災地の教育現場の現状」について報告がありました。その中では、避難解除がされているが、教育現場においては何も解決されていない実態が浮きぼりにされました。次に、富岡二小分会の中島こふみさんから、「5.15沖縄平和行進」に参加した様子について、その時のビデオを見ながら報告がありました。多くの仲間が行動により基地問題に対する意思表示をしている事を知り、参加者も心強い印象を持つことができました。

沖縄からの報告は、沖縄県高等学校障害児学校教職員組合執行委員長の福元勇司さんから、沖縄返還後71年間に及ぶ沖縄県民による米軍基地とのたたかいについて講演をいただきました。

「沖縄県民は、戦後71年間ずっと米軍の基地によって苦しめられてきました。返還前は、沖縄には、日本国憲法が適用されず、アメリカの法律によって統治されていました。そのなごりとして今も、米軍関係者は犯罪をおかしても地位協定によって守られています。米軍基地が沖縄にある必要性は全くなく、最初から普天間基地の代替は沖縄県内でという決定にはどうも納得できるものではありません。立場が弱いものに嫌なものを押しつけるという、いじめの構造が、過疎化が進み雇用を求める地方の県に原発を押しつける状態に似ており、沖縄も福島も同じ境遇にある犠牲者である。連帯を深め、お互いにがんばっていきましょう。」との強いメッセージを受け、沖縄の基地問題は遠く離れた問題ではなく、自分たちの問題であるという思いを強くしました。



質問する参加者

各支部で具体的な運動方針決定!

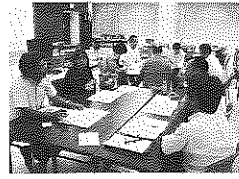
～各支部大会・総会開催! 支部活動が本格的にスタート!～



(いわき支部)



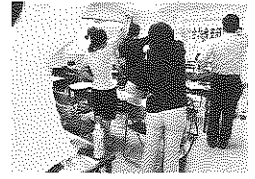
(西白支部)



(伊達支部)



(東白支部)



(北会支部)

6月から7月にかけて、各支部の定期大会・総会が行われ、15年度の活動の総括をし、今年度の運動方針を決定しました。各支部では、学校の多忙化問題、新評価制度の問題点、定着確認シートなどを含めた学力問題、土曜授業の様子と問題点、なかなか見えてこない「コミュニティ・スクール」の全体像、放射能問題、管理職の問題、小学校の英語導入や小中一貫事業についてなど、多岐にわたって現状と課題、そして今後の取り組みについて熱心な討論がなされました。また、青年部の活動の重要性について討論された支部もありました。各支部の運動方針にそって、「目に見える組合」づくりに取り組んでいきましょう。(郡山・双葉支部は、これからの予定です。)

今年度、臨時採用教職員部 始動!

臨時採用教職員部総会 (6/25)

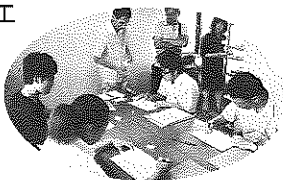
教員採用試験対策学習会 (6/26) 開催!



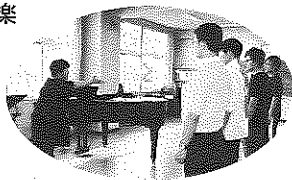
臨時採用教職員部総会では、臨時採用教職員部の発足に至るまでの経過やそれ以降の取り組みについて報告されました。また、総会後に行われた学習会では、国分書記長から「臨採者の勤務条件と県教組の取り組み」について報告があり、臨時採用教職員が増加してきた社会的背景や県教組の臨時採用教職員の権利拡大の取り組みについて具体的な話がありました。

教員採用試験対策学習会では、受講者と講師スタッフ、合わせて38名の参加がありました。学習会では、受講者の要望にこたえて面接、教科、音楽や体育の実技などが行われ、多くの受講者から好評を得ることができました。当日ご協力いただいたみなさん、お疲れさまでした。そして、臨時採用教職員のみなさん、教員採用試験でのご健闘をお祈りしております。

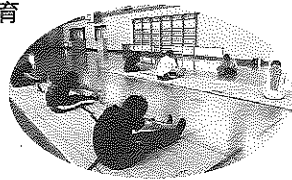
図工



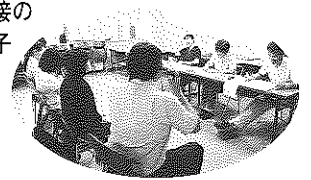
音楽



体育



面接の様子



今年もやります!

共済

おなかを幸せに

2016年6月1日～8月31日

あんしん むすぶ
教職員共済

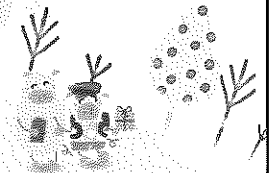
福島県事業所

TEL 024-523-3011



- A** 北海道の日本酒 (2本セット)
- B** 千葉県梨ゼリー (6個入り)
- C** 石川のゴーゴーカレー & のと豚カレー
- D** 大分のドレッシング「ゆふいんの森」

専用応募用紙またはホームページでご応募ください



熊本で福島のことを考えた②

感想

熊本県ボランティア派遣
6月13日(月)～19日(日)

日教組の要請を受け、県教組から熊本県へボランティア派遣を行いました。

佐藤 慎治さん (浜ブロック中執)

5年前、私も地震と原発被害により避難所生活を経験しました。今まで当たり前にあったものが一瞬で奪われ、先の見えない不安と絶望に押しつぶされそうになっていた時、見ず知らずの人から温かい声を掛けられ、「一人じゃないんだ」と感じ、生きる力がわいてきたのを覚えています。私もそんな心の支えになればと思います、参加しました。

熊本市内だけで40カ所近い避難所が開設されていました。2ヶ月が経った避難所の様子は、支援物資の悩みは解消され、必要な物資はネットで本部へ連絡すると、次の日には届くようなシステムができていました。ただ、学校の体育館を利用することには利用者・提供者双方に限界がきていて、コミュニティーを大切にしながら、避難所の統合や仮設住宅への転居を考える時期がきているように感じました。また、世話をしている市職員の疲労度も増しています。同じ被災者なのに、自分の家の片付けは後回しにして、通常勤務をこなしながら交代で、市民の世話をずっとしている状況です。

避難所利用者は年老いた方や、家を失い再建がままならない生活弱者が多かったようです。近所の住宅の様子は、柱が基礎からずれて歪んでいて、家の玄関や駐車場スペースにブルーシートで雨風をしのぎ、外で生活している家庭も見かけました。余震の続く不安で、修理か建て直しも踏み出せない様子です。今すぐ専門家に状況を判断してもらい、前に進むアドバイスをあげられないものかと思いました。

5日間のボランティアからの帰路の途中、益城町を視察しました。被害の範囲は広くはありませんが、活断層の直下型地震の恐ろしさを目の当たりにしました。断層の近辺はペしゃんこに押しつぶされた家屋が数十メートルの幅で一直線上に続いていました。活断層の上に原発が設置されているのをそのまま放置しておくことがどれほど危険な行為かを考えずにはいれないほどの衝撃を受けました。地震国日本には、まだ知られていない断層も多くあります。そんな日本からは今すぐ原子力発電所を完全撤廃する事が急務だと感じた熊本ボランティアでした。



応援の横断幕

活動中の様子



瓶子 高裕さん (副委員長)

日教組派遣第4ターンとして熊本市東区小学校に開設された避難所で活動に参加しました。熊本市内でも東区は今回の地震で最も被害の大きかった益城町に近く、地下に断層も走っており、地質的にも昔は川だったために地盤が緩く、震度7の本震の縦揺れにより、地面が液状化してしまったために、家屋の全壊、半壊が多い状況でした。避難所では、私は夜勤だったので夕食の後片付け、夜の出入り口の見張り(避難所は余震に備えるのと、深夜や早朝の出入りがあるので施錠しないため、不審者が侵入したことがある。)、朝食の準備片付け、ゴミ出しなどの手伝いをしました。避難所で生活している人は、全壊で家に戻れない人と、余震が怖くて避難している人に分けられますが、お年寄りと女性と子どもたちが多く、社会的に弱い人たちが寄り添って生活している印象を受けました。物的にはある程度足りていますが、朝食はパンとスープ等、昼食はパンまたはおにぎり、夕食は弁当とインスタント味噌汁といった簡素な食事で、長期にわたって食することにより、栄養のバランスが偏ってしまうのではないかと感じました。6月になって、エアコンが設置されましたが(避難所によっては設置されていないところもある。)、プライバシーは仕切られた段ボール一枚でかろうじて守られている状態で、厳しいものを感じました。そのような劣悪な環境の中においても、子どもたちが元気に遊んでいる姿を見るとホッとしました。区民課の職員が交替制で担当しており、夜勤の方は、日常業務を勤務してからの業務と言うこともあり、大変疲れている様子でした。この状況を解決するためには、避難所生活が解消され、一日も早く仮設住宅に入居できれば良いのですが、家屋の被害状況の調査が進まず、仮設に入居できるのはもう少しかかりそうです。一日も早く人間らしい生活のできる環境が整うことを願っています。

「熊本地震」
災害救援カンパ

総額 180万円

ご協力ありがとうございました。

「戦争法」「憲法改悪」「原発」にノー！

福島選挙区 ましこ輝彦さん



7月10日投開票の第24回参院選で「安全保障関連法の廃止」「日本国憲法の遵守」「県内原発の廃炉」「安倍政権の打倒」の野党共闘4項目を政策として掲げた、ましこ輝彦さんが、現職の大臣を破って当選しました。原発震災に苦しみ、真の復興と平和をのぞむ福島県民の願いが「激戦」が予想された中で、約3万票の差となって表明されました。

県教組は第92回定期大会で決定した方針に基づき、ましこ輝彦さんの当選に向け取り組みを進めてきました。沖縄選挙区とともに、福島から現職の大臣に「No！」の意思表示がされたことは、安倍政権の暴走に一石を投じる大きな成果となりました。

しかし、全国的な選挙結果では与党が勢力を伸ばし、安倍政権が進める経済優先政策が強く教育にも反映される恐れが強いです。また、安倍首相が目指す「改憲」勢力が参院議席数の3分の2に及んだことから、「憲法改悪」への動きが加速化することは必至です。「教え子を再び戦場に送るな！」のスローガンのもと、県教組は平和と民主主義を守る活動を強化していきます。

大会・集会・学習会

活発に 開催!

夏季休業中、さまざまな大会・集会・学習会等が開催されます。積極的に参加し、参加者どうしの交流と学習を深めましょう。また、参加者からの報告を受けて、学習したことを支部・分会のみんなに広めましょう。「知は力なり！」各支部で運動を広げる契機ともなるはずです。支部教研等での内容に組み入れてはどうでしょうか。

| 集会名 | 日程 | 場所 |
|--------------------|------------------|---------------|
| 日教組幼児教育研究集会 | 7月23日(土)～24日(日) | 横浜市内 |
| 日教組養護教員部研究集会 | 7月29日(金)～31日(日) | 新潟県越後湯沢 |
| 原水禁世界大会・福島大会 | 7月30日(土) | 県教育会館大ホール |
| 県教組被災地フィールドワーク | 7月31日(日) 8月7日(日) | 福島市～浪江町 |
| 日教組栄養教職員研究集会 | 7月30日(土)～31日(日) | 盛岡市つなぎ温泉 |
| 日教組全国学校事務職員研究集会 | 7月30日(土)～31日(日) | 米子市 |
| 母と女性教職員の会全国集会 | 8月1日(月)～2日(火) | 世田谷区民会館 |
| 両性と自立と平等をめざす教育研究集会 | 8月3日(水)～4日(木) | 日本教育会館 |
| 原水禁世界大会・広島大会 | 8月4日(木)～6日(土) | 広島市 |
| 日教組学校図書館全国集会 | 8月6日(土)～7日(日) | 日本教育会館 |
| 原水禁世界大会・長崎大会 | 8月7日(日)～9日(火) | 長崎市 |
| 教育総研研究交流集会 | 8月18日(木)～19日(金) | TKP ガーデンシティ竹橋 |
| 第38回東北B青年教育労働者研究集会 | 8月20日(土)～21日(日) | リゾートインぼなり |
| 第31回東北Bカリキュラム編成講座 | 8月27日(土)～28日(日) | 青森県北地方教育会館 |